

ネイチャーの風

秋田県シェアリングネイチャー協会 NO.48(2025.12月発行)



11月2日(日)~3日(祝・月)全国ネイチャーゲーム交流大会が本県仙北市、田沢湖スポーツセンター及び乳頭温泉郷を会場に行われました。一昨年までは「全国ネイチャーゲーム研究大会」として行われてきましたが、交流をメインにした「交流大会」としては記念すべき第1回目！三連休の後半という良いとは言えない条件ながら、全国から46名が集まってくださいました。



今回は、直前の研修会も含めて、全国交流大会を大特集します。



乳頭温泉郷について学ぶ研修会

10月13日乳頭温泉郷のブナの森で、乳頭温泉郷の歴史や自然について学ぶ会を行いました。我々が全国の皆さんに紹介するためにはしっかり歴史を知っておく必要があるということで、鶴の湯会長の佐藤和志さんに講師をお願いしました。当日は気持ちの良い秋晴れ、ずっと立ちながらでしたが、熱く歴史や自然の特徴などを語っていただきました。

大正時代、秋田林業の工場が稼働しており、酢酸を製造していた（酢酸は第一次世界大戦で使う火薬を作るのに必要だった）こと。酢酸は、木炭を作る過程で作られていたので、大量の木が伐採され、その後伐採跡地から萌芽したものが、今の田沢地区のブナ林となっていること。かつて、乳頭温泉郷周辺は国有林だったが、地元の人たちが長い間、牧草地などとして活用していたため、裁判を起こして 6000ha を生保内財産区の所有林に変えたこと。そしてこのときの町長が観光に力を入れ、今の乳頭温泉郷が整備されたということなど、たくさんのこと教えていただきました。



全国ネイチャーゲーム交流大会 in 秋田

【経緯について】元々は2020年春の開催を目指して、2018年から準備を始めましたが、コロナ禍で直前に中止となってしまいました。2021年にオンラインで行われた全国研究大会において、実施予定内容を紹介しました。しかし、ぜひ実際に秋田に行きたいという要望が根強く、「交流大会」と名称を変更する2025年の第1回目として秋田で実施することになり、2023年からまた準備を始めました。ただ2020年実施を予定していた新緑の季節ではなく、諸事情により晩秋にしか実施できず、ほぼ仕切り直し状態で再スタート！考えてみると長い長い8年間がありました。

大会テーマを「ブナの森と温泉パワーでリフレッシュ！」とし、秋田のブナの森と全国的に有名な温泉を楽しんでいただく計画をたてましたが、今年はブナが大凶作により熊の出没も危惧される上、お天気も駒ヶ岳は直前に積雪、前日からも悪天候の予報と、ドキドキハラハラしながら当日を迎えました。

【前日準備】11月1日は前日準備で昼夜にスタッフが集まりました。青森県からも応援で2名、岩手県からは1名が前日入りしてくださいました。

1日目の主会場である、スキーセンター レラの会場準備、打合せ、ワークショップのグループごとの現地下見を行いました。お天気は冷たい雨。いくら自然に親しみ、理解のある参加者の皆さんとはいえ、明日全国から無事に到着できるのか、明日からの本番が予定通りに進むのか、非常に不安なスタートでありました。終了後スタッフの大部分は、大釜温泉に宿泊。明日からに備えて英気を養いました。

【1日目】

朝は少し晴れ間が見えたものの、やはり時々パラパラ雨も降りすっきりしない天気。気を取り直していざ、お客様をお迎えする最終準備を進めます。朝からは岩手県からも6名がスタッフとして加わってくださいました。秋田県は12名ですので、総勢20名。オレンジ色のスタッフベストを来て、準備完了！日本協会から日置代表理事を含めて4名のスタッフも来てください、鬼に金棒（？）

参加者の皆さんには、午後の受付時間に合わせてきて続々集結。はじめましての方もいれば、オンライン会議で画面ではいつもお会いしている方々も。スタッフは笑顔で緊張感も少なく、様々な場面で会話が弾んでいました。

★1 出会いのつどい★

14:15いよいよスタートです。司会の亀井和歌子さんの癒される美声で幕を開けました。草薙秋田県協会理事長、日置代表理事の挨拶、スポセン・事務局からの連絡などでセレモニーが行われました。

★2 秋田タイム★

せっかく秋田にいらっしゃったのだから、秋田のことを知っていただこうと、30分程秋田タイムを行いました。はじめは秋田犬のよっちゃんこと、佐川芳子さんと近藤の掛け合いによる秋田県の見どころ紹介。方言をふんだんに取り入れて、笑いを誘いました。

次は、宮腰真澄さんの本格的な昔話。農家のかっちゃん（母さん）の扮装で雰囲気たっぷり、田沢のたつこの昔話をしっとりじっくり聞かせてくれました。中には引き込まれて涙ぐんでいる人もいました。

最後は花田綾子さんによるツキノワグマの話。普段お仕事で林業に携わっている花田さんならではの説得力のある話、しかも全国一の熊の出没数で心配が尽きない秋田での話だけに、皆さん興味をもって聞いてくださっていました。

その後スキー場をバックに全員で集合写真をとり、フリープログラム（自由企画コーナー）の話などしながら、ゆったりと過ごしました。

そして、夕方隣のスポーツセンターへ暗い中移動。ちょっとしたサバイバル気分？各自ようやく宿泊室へ入り、早速温泉に入るなどして一息つきました。

★3 タベのつどい★

夕食には特別にスポーツセンターのご協力のもと、きりたんぽ鍋も提供。テーブルの上に本格的な鍋が並べられました。夕食をとりながら、合間のレセプションでは、大仙市の中高生のドンパン娘たちの華麗なドンパン節の手踊りの披露、なまはげ2匹（菊地まなはげ、戸嶋なまはげ）の乱入など、秋田らしさを出して盛り上げました。

参加者からの差し入れもものすごい量で、全国各地の名物お菓子や日本酒が所狭しと並べられました。

★4 夜のフリープログラム★

食後は引き続き飲みながら食べながら交流を深めるチームもあり、持ち寄った「つながりを感じよう」「季語ならべ」「どんぐりコマで遊ぼう」を行ってくださいました。おのの自由に参加して楽しみ、交流を深めました。

1 出会いのつどい



2 秋田タイム



3 タべのつどい



4 フリープログラム(夜)



【2日目】

★5 朝のフリープログラム★

朝のフリープログラムもありました。残念ながら、安全管理上屋外には出ることはできませんでしたが、外の景色を見ながら瞑想して「ネイチャーメディテーション」、「はじめまして」を英語バージョンで行った「はじめまして 食物＆国際バージョン」が自主的に行われ、朝早くからはりきって参加されていました。

★朝食★

ワークショップは4つ設定していましたが、バスの運行時間の兼ね合いで、2つに分けて1時間程度の時間差での出発でした。最初の黒湯・いで湯チームは、7:00には大急ぎでご飯を食べ、7:30にはバスに乗るという強行軍でしたが、さすが慣れている方々、スムーズに動いてくださいました。

★6 ワークショップ★

A 黒湯コース(担当:◎佐川、吉田)

一足早く出発予定の湯めぐりコースの準備体操を横目で見ながら一緒に行う人、見ていてやつた気になった人など様々。さあ黒湯温泉を目指し安全第一、熊に注意しながら散策開始です。途中大きな岩にいたずら書きを発見！岩に掘る労力に皆感心。しばらく進むと山から流れるイワナの棲む沢「蟹沢」の流れに感動し、参加者はスマホでパチリ。ネイチャーフォトに出展か？黒湯温泉入浴も済み、青空も見え始めたブナ回廊を帰ります。木漏れ日最高！

ゲームは2個用意しましたが、雨のためカードが濡れるので、昼食後に行いました(できない人は来年まで宿題です)。〈佐川〉

B いで湯のみち散策コース(担当:◎宮腰、藤井、菊地)

Bコースは、参加者11名、スタッフ5名計16名でした。小雨の中、傘をさしてのスタートでしたが、ウェルネスでは、「ブナの森で雨の音を聴きながら、ゆっくり深呼吸できて良かった。」という感想も聞かれ、それぞれが自分のペースで楽しむことができたようです。

素朴な佇まいの蟹場温泉は、ほぼ貸切状態で、休憩や入浴でリフレッシュ出来ました。(雨も上がり、集合写真の笑顔がいい！)最後の緩やかな登りはきつかったと思います。皆さん、よく頑張りました！途中で拾ったきれいな落葉をとじこめーるに収めている姿は、無邪気でかわいかったです！〈宮腰〉

C 休暇村コース(担当:◎戸嶋、亀井)

落ち葉でふかふかのブナの森をゆっくり散策。「あっ樹幹流だ、雨の日ならではだね！、ここにクマの爪痕が、赤い実はツルアリドオシ、えー緑のバッタが何故ここに？、このキノコは、、、」と面白いものが見つかるたびにミニ観察会。アクティビティは「ブナへのインタビュー」で自然との対話を楽しみました。

雨がやみ森に光が差すと同時に届いた鳥のさえずりが心地よく、休暇村では二種類の温泉で日頃の疲れをリフレッシュできました。〈戸嶋〉

D 鶴の湯コース(担当:◎花田、佐々木純、林)

鶴の湯コースは、グループ分けでちょっとした奇跡がありました。声を出さずにジェスチャーで誕生日順に並んだところ、なんと本日お誕生日という方が！！みんなでお祝いし、大変盛り上りました。

活動の後半では、雨があがって光が差しこみ、森全体がキラキラしました。スポットライトのように差し込む光を分かち合ったり、落ち葉キャッチをしたり、雨上がりの森を体全体で楽しむ参加者に、私もとてもハッピーになりました。〈花田〉

5 フリープログラム(朝)



6 ワークショップ) A 黒湯コース



6 ワークショップ) B いで湯のみち散策コース



6 ワークショップ) C 休暇村コース



6 ワークショップ) D 鶴の湯コース



A 黒湯



B いで湯



各チーム全員集合！

C 休暇村



D 鶴の湯



★7 別れのつどい・お見送り★

昼食後、一息ついたらもう別れの時間。体育館に集合し、セレモニーを行いました。各グループから参加者の代表が感想を述べましたが、どの方も笑顔で心に残ったことを話してくれました。そして草薙理事長から幸運な5名に記念の手ぬぐい授与、最後は菊地なまはげ＆佐川ペアで声高らかに「へばな！」と別れのことばを告げました。最後はバスの見送り。すがすがしい青空のもと、のぼりを降つて坂道を降りるバスを見えなくなるまで見送りました。

7 別れのつどい



へばな！

お見送り





抜群のチームワークで無事終了！お天気も味方してくれ、充実感でいっぱいの20名。(佐々木純さんは、駅まで見送り中で写真に入ることができませんでした。)青森、岩手の仲間に心から感謝！お疲れさまでした！

いかがでしたでしょうか？今回は秋田県立田沢湖スポーツセンターの皆さんにも多大なるご協力をいただき、特別メニューでおいしい食事を楽しくいただくことができました。心より感謝申し上げます。

本当に一部しかお伝え出来ず、残念です。春には、総会の折にでも、まだまだお見せできなかった写真などをみて振り返り、また他県のパワフルな方々から教えていただいたアクティビティなどを紹介する研修会も行いたいと計画しております。今回参加できなかった皆さんも、ぜひおいでいただき、一緒に楽しめたらなあと思っております。お楽しみに！

草薙理事長 秋の叙勲 授章おめでとうございます！



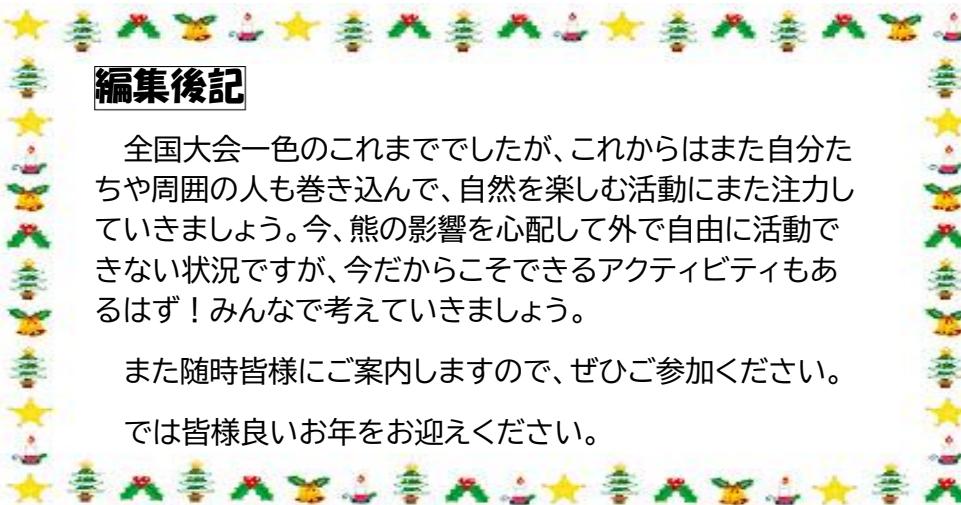
我が秋田県協会の理事長 草薙孝悦氏が、このたびの秋の叙勲において、スポーツ振興功労・地方自治功労として旭日双光章を授章されました。

これまで長年にわたり、中仙町議会議員をはじめ、秋田県レクリエーション協会、秋田県ライオンズクラブなどで要職を歴任され、地域に根ざした熱心な活動やご功績が認められたものです。

いつも若々しく軽やかな足取りで、そして常に明るい笑顔で周囲を和ませてくださり、日々あちらこちらに奔走していらっしゃる姿には本当に尊敬の念しかありません。

これからも、健康にご留意され、ますますお元気でご活躍ください！

▲全国大会ご苦労さん会にて



編集後記

全国大会一色のこれまででしたが、これからはまた自分たちや周囲の人も巻き込んで、自然を楽しむ活動にまた注力していきましょう。今、熊の影響を心配して外で自由に活動できない状況ですが、今だからこそできるアクティビティもあるはず！みんなで考えていきましょう。

また隨時皆様にご案内しますので、ぜひご参加ください。
では皆様良いお年をお迎えください。

▼9/23 全県レクリエーション大会
in 大館(樹海ドーム)にて
楽しんで体験してくださいました！

